



移植医療に関する普及啓発の取り組み

● 理解を深める取り組み ●

JOTでは、ホームページを中心に、さまざまな情報を発信しています。

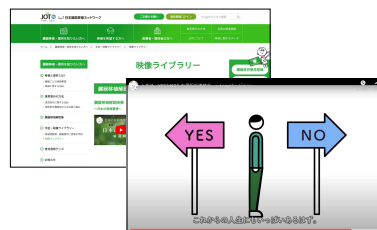
特に、毎年10月は臓器移植普及推進月間で、国や地方自治体と連携をとりながら臓器移植推進国民大会の開催やグリーンリボンキャンペーンの実施などにより、多くの人たちに臓器移植について理解を深める普及啓発をしています。



JOTホームページ



提供者のご家族・移植経験者の手記



映像ライブラリー・意思表示について考える動画

グリーンリボンキャンペーン

YESでもいい。NOでもいい。あなたの意思を表示しよう。

「グリーンリボンキャンペーン」は、移植医療を通して、臓器を提供してもいいという人と移植を受けたい人が結ばれ、よりたくさんのいのちが救われる社会の実現に向けた、移植医療の理解促進、普及啓発につながる取り組みです。移植医療は善意の臓器提供によって支えられています。それはこの社会を構成する一人ひとり、私であり、あなたの医療なのです。臓器を提供する、提供しないにかかわらず、正しい知識を共有し、みんなで考え、みんなで支えていくことが大切です。そのためにはまずみんなで話し合うこと。また、家族など、身近で大切な人と移植医療について話し合う機会を持つことは、いのちの大切さについてあらためて考える機会にもなります。



グリーンリボンキャンペーンホームページ



Facebook

● GREEN LIGHT-UP PROJECT ~患者さんに、希望の光を届けよう。~

臓器移植法は1997年10月16日に施行されました。毎年10月16日をグリーンリボンデーと制定し、東京タワーをはじめとする全国各地のランドマークのグリーンライトアップを行っています。緑色の優しい光が、ご家族や大切な方と、いのちのことや、臓器移植について話さきっかけになることを願っています。



GREEN LIGHT-UP PROJECT開催場所

- ・東京タワー・レインボーブリッジ
- ・太陽の塔・名古屋テレビ塔
- ・福岡タワー など全国約160カ所

● 意思表示を促す取り組み ●

一人ひとりが臓器提供をする、提供しないにかかわらず、意思表示することにつながる普及啓発を進めています。

健康保険証、運転免許証及びマイナンバーカードの発行窓口の協力により、意思表示欄の周知と共にインターネットを通じた意思登録で意思表示を促すため、リーフレットの配布やポスターの掲示などを実施しています。

● 教育への取り組み ●

子供のころから、臓器移植について正しい情報に触れ、自らが調べ、考え、話すなどの機会を創出し、自分ゴトとして認識し行動できるための普及啓発を進めています。いのちの大切さや、臓器移植を正しく理解してもらえるよう、幼少期から高校、大学、社会人まで、教育における取り組みを行っています。

小・中学校では「道徳」の教科などにて、授業を広く実施するための支援として教育者向けセミナーの開催をはじめ、資料提供や講師派遣などによる支援をしています。

教育を通して社会全体への理解へのつながり、移植医療が身近にある社会づくりを目指しています。



小・中学生向けキッズサイト